

がんゲノム医療センター

スタッフ紹介



センター長
たかやま こういち
高山 浩一

(副病院長、
呼吸器内科
診療部長)

副センター長	小嶋 基寛 (病院病理部長)
副センター長	岩破 将博 (呼吸器内科講師)
事務長	鍛 智行 (病院管理課長)
医員	土井 俊文 (消化器内科講師)
医員	石田 真樹 (呼吸器内科助教)
医員	榊田 智喜 (消化器内科病院助教)
部員	村島 京子 (医療フロンティア展開学助教、認定遺伝カウンセラー)
部員	松岡 正美 (看護部)
部員	井上 恭子 (看護部)
部員	田中 優子 (病院管理課)

私たちの業務

「がんゲノム医療センター」は2019年8月に開設し、国立がん研究センター中央病院と連携して「がんゲノムプロファイル検査」を実施しています。これまでに多くの患者様がこの検査を受け、一部の方は新たな治療法が見つかったり、診断がはっきりするなどの恩恵を受けています。これからのがん治療では、がんが発生した臓器やがん細胞の形だけではなく、がんの遺伝子異常について知ることが重要です。

◆ がんゲノムプロファイル検査とは

現在がんの関連遺伝子としてわかっているものだけで数100個ありますが、これまでは有効な薬剤があるがん関連遺伝子だけを調べていたため、がん細胞の遺伝子異常の全体像は不明でした。しかし、医療技術の革新により、現在では次世代シーケンサーと呼ばれる検査機器を用いて100個以上のがん関連遺伝子を同時に調べることが可能になりました。当センターではOncoGuide™NCCオンコパネルシステム、FoundationOne® CDx、FoundationOne® Liquid CDx、Guardant360® CDx、GenMineTOPのいずれかの検査法により保険診療下でがんゲノムプロファイル検査を実施しています。それにより腫瘍組織を用いた検査だけでなく、血液検体を用いた検査も可能です。一方、網羅的な遺伝子解析の結果、偶然に家族性腫瘍に関する遺伝子異常が見つかることもあります。本年より血液がんに対する遺伝子パネル検査HEMESIGHT® を用いた検査も実施しています。

◆ がんゲノムプロファイル検査が可能な方

- ① 通院中で全身状態が比較的保たれている固形がんの方。
- ② 標準治療がない、もしくは、標準治療が終了しているか、終了見込みの方。
(原発不明がん、希少がんなどを含みます。)
- ③ 外科切除や生検によってがん組織が採取され、薄切標本を提供いただける方。

* 検体処理の方法については別途ご相談可能です。また、がん組織の量が不十分な場合や適切な組織検体がない場合は、血液検体を用いた検査が可能です。

◆ お手続き

がんゲノムプロファイル検査の可否については下記連絡先までお問い合わせください。患者様の状況を確認させていただき、担当医および初回外来診療日をがんゲノム医療センターからご案内いたします。以後は通常の患者紹介手続きに従って、診療情報提供書を作成ください。紹介いただいた先生には本検査に関する各種マニュアル、病態情報登録用ファイルなどを当センターよりお送りします。得られた検査結果を基に当院および国立がん研究センターの専門家が参加するエキスパートパネル会議で最善の治療法が検討されます。会議での検討結果に基づいて、当院担当医より患者様に検査結果の説明を行います。HEMESIGHT® の適応については血液内科にお問い合わせください。

がんゲノム医療センター (CGMC) TEL 075-251-5336
E-Mail cgmed@koto.kpu-m.ac.jp